



打上っ子だより

唐津市立打上小学校
令和8年7月17日(金)
第5号
文責 校長：小山大隆



校長おススメ勉強

教育目標 自ら考え行動し、地域や仲間を思い、夢に向かって輝く子どもの育成

1学期 終業式

～今日だから感じ考えよう～



7月17日(金)に1学期の終業式を行いました。

終業式では、子どもたちがこの1学期、勉強や運動、学校生活の中でさまざまなことに挑戦し、大きく成長したことを伝えました。

そして、この夏休みはぜひ「なんでだろう？」をたくさん見つけてほしいと話しました。

「どうしてあさがおのつるは、どっち回り？」「どうして星は光って見えるの？」「どうしてひまわりは太陽の方を向くの？」「どうして氷は水に浮くの？」など、身近な疑問に気付くことが学びの第一歩です。

夏休みは、自然の中で遊んだり、家族と過ごしたり、お手伝いをしたり、本を読んだりするなど、学校ではできない体験がたくさんあります。その中で「なんでだろう？」を見つけ、調べたり、考えたり、実際に試したりすることで、新しい発見や学びにつながります。すぐに答えが見つからなくても、考え続けること自体が大きな成長につながります。2学期には、子どもたちからたくさんの発見を聞けることを楽しみにしています。

また、夏休みを楽しく過ごすためには、何よりも命を大切にすることが重要です。交通事故や水の事故、熱中症などに十分注意し、「危ない」と感じたときには立ち止まることや、周りの大人に相談することを忘れないでほしいと伝えました。

一人一人が安全に、そして充実した夏休みを過ごし、元気な笑顔で2学期の始業式を迎えられることを、教職員一同心より願っています。

着衣泳を行いました

～ 命について考え、命は自分で守ろう～

夏になると、川や海、プールなどでの水の事故が毎年報道されています。水辺は楽しい場所である一方、思いがけない危険も潜んでいます。

本校では、万が一の事態に備え、自分の命を守る力を身に付けることを目的として、毎年高学年対象として「着衣泳」の学習を行っています。服を着たまま水に入ると、衣服が水を含んで体が重くなり、普段のように泳ぐことが難しくなります。子どもたちは実際にその感覚を体験し、慌てずに浮いて救助を待つ方法や、身近な物を活用して浮く方法などを学びました。

ご家庭でも、水辺で遊ぶ際には大人が目を離さないことや、危険な場所には近づかないことなどについて、お子さんと話し合う機会を設けていただければ幸いです。学校でも引き続き、安全教育の充実に努め、子どもたちが自分の命を守る行動ができるよう指導してまいります。

全校の仲が深まるように自己紹介カード交換会を実施しました

5月に開かれた代表委員会では、「みんなが仲を深める」「学校をよりよくする」というめあてのもと、全校のみんなが交流を深められる取組について話し合いました。その中で、自分のことを知ってもらい、相手のことも知ることができる「自己紹介カード交換会」を行うことが決まり、代表委員が中心となって自己紹介カードを作成・準備しました。

そして、7月3日に全校で自己紹介カード交換会を実施しました。子どもたちは自己紹介カードを交換しながら、自分の好きなことや得意なことなどを紹介し合い、会話を楽しんでいました。普段あまり話す機会のない友達とも交流することができ、笑顔あふれる時間となりました。

この活動をきっかけに、新しい友達とのつながりが広がり、学年を越えた交流も深まりました。これからも、お互いのことを知り、思いやりを大切にしながら、笑顔いっぱいの学校づくりをみんなで進めていきたいと思います。



★1学期の思い出アルバム★

●入学式（1年生、元気100%）



●遠足（全校で歩いて行きました）



●給食センター見学（3年生。好き嫌いなく!）



●海の仕事見学（4年生。かっこよかった）



●全校集会（2年生、自分のことはきはき発表）



●全校集会（5年生、学級の歌紹介）



●歴史学習（楽しく歴史を学びました）



●チョボラ（6年生から他学年へ、増えました）

